

【一般選抜 A 日程 健康管理学部の問題】 出題意図と評価の観点について

◆ 出題意図

本問は、日本社会におけるデジタル化の課題と将来展望について、受験生が自らの考えを論理的に展開できるかを問うものである。「デジタルデバイド」や「デジタル人材の不足」といった現状の課題を理解し、それらに対する解決策を各自の視点から考えや課題に対して意見を述べることを意図している。デジタル社会が目指すビジョンと現実のギャップを認識した上で、具体的な施策を考える力を測る問題となっている。

◆ 評価の観点

- 「デジタル社会」の理念について、単なる技術革新ではなく「一人ひとりのニーズに合ったサービス」「多様な幸せの実現」という本質的な目的を理解しているか。
- 「デジタル化の遅れ」について、「人材不足」や「人材育成のための組織作り」、「デジタルデバイド」などの複合的要因から分析できているか。
- 「情報漏洩等への不安」やデジタル技術に不慣れな人が感じる「よくわからない」という心理的障壁についての理解が示されているか。
- 「生産年齢人口の減少」という日本社会の構造的課題とデジタル化の推進を関連づけて考察できているか。

◆ 問 1 に対する評価ポイント

日本社会におけるデジタル化の遅れについて、技術的要因と社会や心理的要因の両面から多面的に分析できているか。特に「デジタルデバイド」の問題や情報セキュリティへの不安感などの心理的側面、人材不足や組織体制の問題などの構造的側面について論じられているかを評価する。また、これらの課題に対する解決の方向性についても述べられているかを重視する。

◆ 問 2 に対する評価ポイント

理想とするデジタル社会の実現に必要な施策について、技術面だけでなく学校教育や制度設計など社会システム全体の視点から提案がなされているか。単なる理想論ではなく、現実的な視点を含んだ提案となっているかを評価する。また、デジタル社会の実現へ向けて、人間中心の価値観や倫理的側面も重要で、このことも論じられているか評価ポイントとなる。

◆ 受験生へのメッセージ

この問題は、デジタル化がもたらす社会変化について考える力を測るものです。デジタル社会が私たちの生活にどう影響するのか。また、デジタル化推進の重要性を理解し、今後、どのように進めるべきであるかという視点で論じることが大切です。

学生の皆さんは、理想のデジタル社会を思い描き、それを実現するための具体策に、また多角的に提案してください。技術面だけでなく、学校教育や社会における制度設計も含めて考えてみましょう。

日頃からデジタル技術やサービスについて「誰のために」「なぜ必要か」など問いかけてみることも必要です。また、高齢者や情報弱者の視点も忘れず、誰もが便利さを享受できる社会のあり方を考えてみましょう。